

【1級・解説】

リスニング

PARTE I (N1 – N4)

---

N 1 a

【正答率】91.5%

M: Il film, magistralmente interpretato da Mastroianni, termina così, con l'anziano giornalista che, come ringiovanito, senza ormai più baffi né bastone, cammina a passo deciso tra la folla, la giacca su una spalla, la bisaccia sull'altra, andando incontro ad un futuro che il regista ci lascia solo immaginare.

【訳】(男) マストロヤンニによりみごとに演じられるこの映画は、こんな風に終わります。その年配のジャーナリストが、若返ったように、もはや口ひげも杖もなしに、決然とした足取りで人混みを縫い、上着を片方の肩に、ショルダーバッグをもう片方にかけて、監督がただ私たちの想像にのみ委ねる未来に向かって歩いてゆくのです。

N 2 c

【正答率】81.7%

F1: Come parla bene...

F2: Beh, sì... ma hai notato che legge?

F1: Legge? Tu dici? Come fai a dirlo?

F2: Non vedi che distoglie continuamente lo sguardo dalla telecamera per guardare in basso, di lato, alla sua destra? Facci caso.

F1: Eh, sì ora che me lo fai notare... Tu dici che sta leggendo?

F2: Certamente. Avrà dei fogli...

【訳】(女1)なんて話し上手な人かしら……。 (女2)まあ、そうね……。でもあなた、この人が読んでいるのに気がついた？ (女1)読んでいる？ そうなの？ どうして言い切れるの？ (女2)下の方、横の方、右の方を見ようとして視線を絶えずテレビカメラからそらせているのが見えない？ 注意してごらんください。 (女1)あら、そうね、今あなたからそれに気づかされてみると……。あなた、この人が読み上げているっていうの？ (女2)決まっているわ。ペーパーを用意しているんでしょうね……。

N 13 c

【正答率】94.4%

M1: Pronto?

M2: Pronto, casa Rossi? Sono Giovanardi. Potrei parlare con il dottore?

M1: Sì, certo, sono io.

M2: Ah, buongiorno, dottore. Eh, non la riconoscevo... Cos'ha? È un po' raffreddato?

M1: Mah, veramente... Ma lei, scusi, come ha detto che si chiama? Giovanardi?

M2: Sì, dottore! Ma come, non mi riconosce? Sono Paolo Giovanardi.

M1: Mi dispiace, ma... Un momento, forse ho capito. Lei non starà mica per caso cercando il dottor Giancarlo Rossi, che abita in via Gioberti?

M2: Sì, certo, proprio lui, il mio commercialista. Non è lei? Eppure...

M1: Eh no, caro signore. Io mi chiamo Giampaolo Rossi, e sono un cardiologo.

M2: Uh, davvero? Mi scusi tanto, dottore! Non so come... Ho cercato il numero sull'elenco...

M1: ...e si è sbagliato. E non è la prima volta che capita. Il dottor Giancarlo Rossi che cerca lei viene subito dopo di me.

M2: Ah sì? Ma... siete parenti?

M1: Ma no, affatto.

M2: Mi scusi tanto, davvero, dottore.

M1: Si figuri. La prossima volta magari stia più attento.

【訳】(男1)もしもし？(男2)もしもし、ロッシさんのお宅ですか？こちらはジョヴァナルディです。先生とお話しできますでしょうか？(男1)ええ、もちろん、私です。(男2)おや、こんにちは、先生。いや、先生だとは分かりませんでした……どうされました？少し風邪を引かれたんですか？(男1)いえ、正直な話……。ですがそちらは、すみません、お名前は何とおっしゃいました？ジョヴァナルディ？(男2)そうですよ、先生！どうしたことです、私がお分かりになりませんか？こちらはパオロ・ジョヴァナルディです。(男1)あいにくながら……。待ってください、どうやら分かりました。あなたはもしや、ジャンカルロ・ロッシ先生をお探しののでは？ジョベルティ通りにお住まいの。(男2)ええ、その通りです。まさに彼です、私の会計士の。あなたではないんですか？でも……。(男1)いや、違います。私はジャンパオロ・ロッシという名で、心臓の専門医です。(男2)おや、本当ですか？大変失礼しました、先生！どうしたわけでしょう……。私は電話帳で番号を調べて……。(男1)……。それで、間違われたんです。それにこんなことは初めてではないんです。あなたがお探しのジャンカルロ・ロッシ先生は私のすぐ次に出ているので……。(男2)ああ、そうですか？しかし……お二人はご親戚ですか？

(男1)いいえ、全く。(男2)大変失礼しました、先生。(男1)とんでもないです。できれば次回  
はもっとご注意ください。

電話に出ている人物は:

- a) 会計士のジャンカルロ・ロッシ先生だ
- b) ジャンカルロ・ロッシ先生の親戚だ
- c) 名前はジャンカルロではなくジャンパオロという

**N 14 c**

**【正答率】31.0%**

F: Già nel Medioevo il maquillage femminile era assai complicato. Basilari erano il rossetto e la crema, quest'ultima fatta di un velenoso intruglio di polvere di piombo, aceto e miele, che conferiva all'incarnato un colore bianco e opaco simile a quello della biacca, ma che col tempo corrodeva il volto e lo deturpava. Per truccarsi gli occhi le donne usavano un carboncino d'antimonio e nerofumo, antenato del moderno rimmel. Altri cosmetici molto in voga erano lo zafferano, che dava vivacità alle gote, le mandorle, le fave e le cipolle.

(adatt. da: Indro Montanelli, Roberto Gervaso, *L'Italia dei comuni*, Rizzoli, Milano, 1966)

【訳】(女)すでに中世には女性のメークアップはかなり手が込んでいました。基本は口紅とクリームでしたが、後者は鉛の粉、酢、蜂蜜から作った有毒な混合物で、バラ色の肌に鉛白のような白くすんだ色合いをもたらしていたのですが、長年の間に顔をむしばんで醜くしてしまったものです。目元に化粧を施すには、女性たちは現代のマスカラの先祖、アンチモンと油煙の炭筆を使っていました。ほかに人気のあった化粧品は、ほおに赤みを添えるサフラン、アーモンド、ソラマメ、それに玉ねぎでした。

(インドロ・モンタネリ、ロベルト・ジェルヴァーゾ共著『都市国家(コムーネ)のイタリア』ミラーノ、Rizzoli社・1966年刊に加筆)

中世には:

- a) 口紅は有害物質で作られていた
- b) 女性はまだ目元に化粧をしていなかった
- c) サフランはほおの色をより鮮やかにしていた

**N 15 a**

**【正答率】73.2%**

F1: Senti, io con Paolo non so più cosa fare...

F2: Perché, Gianna?

F1: È la terza volta che prova a invitarmi a cena da lui e che io, garbatamente,

rifiuto. Dovrebbe averlo capito, no?

F2: Eh, beh, che ci vuoi fare? Gli piaci!

F1: Ho capito, ma a me non piace lui!

F2: Certo, certo... E allora, diglielo chiaramente, scusa.

F1: Beh, sì... Non volevo essere scortese, ma a questo punto...

F2: Che poi non è neanche così male.

F1: Per carità, chi dice che sia brutto. Semplicemente, guarda, non è proprio il mio tipo.

【訳】(女1)ねえ、私、パオロのこと、もうどうしていいか分からないの……。 (女2)どうして、ジャンナ？ (女1)これで3度目なのよ、あの人が彼の家での夕食に私を誘おうとして、私が丁寧に断るのは。分かったはずよね、違う？ (女2)まあね、だって、仕方ないじゃない？ 彼はあなたが好きなのよ！ (女1)分かったわよ、でも私は、彼を好きじゃないわ！ (女2)そうよね、そうよね……。だったら、彼にはっきりそう言いなさいよ、言わせてもらえば。 (女1)うん、そうねえ……。ぶしつけにはなりたくなかったけど、こうなった以上……。 (女2)それに彼、そんなに悪くないじゃない。(女1)もちろんよ、彼が不細工だなんて誰も言ってやしないわ。ただ単に、そう、全然私のタイプじゃないのよ。

ジャンナに言わせれば、パオロが分かったはずのことは:

- a) 彼女は彼のアプローチに興味がないということ
- b) 彼女は自分がぶしつけだったのを申し訳なく思っているということ
- c) 彼の料理のやり方が彼女にはまったく好みではないということ

**N 16 a**

【正答率】93.0%

F: Polizze assicurative automobilistiche contraffatte grazie a decine di siti web di finti intermediari: sono state moltissime le vittime della maxi truffa sgominata dai carabinieri del Nucleo Investigativo di Milano. L'operazione ha condotto all'arresto di 16 persone, ritenute a vario titolo responsabili di associazione per delinquere, truffa aggravata, riciclaggio, esercizio abusivo di attività assicurativa e uso di marchi contraffatti.

【訳】(女)自動車保険証書、何十もの偽仲介業者のウェブサイトのおかげで偽造される。ミラーノの捜査班のカラビニエーリ(国防省警察)により粉碎された大規模詐欺の被害者は非常に数でした。作戦は16人の逮捕につながりました。彼らは集団犯罪、加重詐欺、資金洗浄、保険業の不法営業、それに偽造商標使用にさまざまな形で関与した犯人と見られています。

ミラーノでカラビニエーリたちが逮捕した一味は:

- a) 詐欺団
- b) 強盗団
- c) 恐喝団

## PARTE I (N 23 – N 44)

N 25 b

【正答率】69.0%

【訳】彼女は困難な幼少期を過ごしたにもかかわらず、大女優になりました。

【解説】接続詞nonostanteは、後に接続法の動詞を伴って、「～にもかかわらず、～とはいえ」という譲歩の従属節を導きます。したがって、接続法の大過去avesse avutoとなる、b)が正解です。

N 26 d

【正答率】56.3%

【訳】私たちの運命的な初対面の日、私も彼女も自分たちの人生の残り全てを、こんなにも幸せと一緒に送ることになるとは、決して想像などできなかったでしょう。【解説】主節の条件法過去の動詞avremmo potuto immaginareの時点から見て、従属節の内容は以後の事柄だと文脈から分かります。主節が過去時制のとき、従属節で「過去における未来」を表すのは条件法過去ですので、d) avremmo passatoが正解です。

N 41/42/43

【訳】様々な研究者たちが主張するところによると、オロリン・トゥゲネンシスは猿のように木によじ登ることができたけれども、同時に、直立姿勢で歩くことができた最初の初期人類だったようだとのこと。

N 41 b

【正答率】38.0%

【解説】文脈に合うのは、「～に従う、～を信用する」を意味する成句〈stare a + ~〉ですので、b)が正解です。ここではstareのジェルンディオが使われ、l'Orrorin以下の主節に対する従属節となっています。

N 42 b

【正答率】74.6%

【解説】間接的情報に基づいて推測的判断を述べたり、聞いただけの不確かなことを伝えたりするときには、条件法を使います。報道や噂話などで使われ、「～らしい、～とのことだ」と訳されます。ここでの文脈に合うので、条件法現在のb) sembrerebbeが正解です。

N 43 d

【正答率】74.6%

【解説】文脈に合うのは、「同時に、その際」を意味する成句〈nel [al] contempo〉です。よっ

て、d) nelが正解です。

## PARTE II (N 44 – N 52)

---

### N 46/47

【訳】彼は変わりました、考えを改めました、今では律義に生きていますと君は主張しますが、それについて私が疑うことを許してください。狼の毛は抜けますが、その悪習は抜けません。

#### N 46 c

【正答率】4.2%

【解説】文脈に合うのは、「義務を果たす、立派に行動する」を意味する成句〈rigare dritto [diritto]〉ですので、c)が正解です。rigareは他動詞として「線を引く」という意味ですが、この成句でのみ自動詞として使われます。

#### N 47 d

【正答率】25.4%

【解説】ことわざ〈il lupo perde il pelo ma non il vizio〉、直訳すると「狼は毛を失うが悪習を失わない」は、「外見は変えられても習慣や本能は変えられない」を意味します。文脈に合う、d)が正解です。

### N 50/51/52

【訳】あの向こう見ずな方法でバイクを運転していると、絶え間なく死ぬ危険があります。私はその人に、もしそのようにし続けると、あなたは遅かれ早かれ、病院行きになるか、さらに悪いと、墓場行きになりますよ、と言いました。

#### N 50 b

【正答率】63.4%

【解説】4つの選択肢の意味は、a) speranzoso「希望に満ちた」、b) spericolato「向こう見ずな」、c) sperimentato「経験を積んだ、実証された」、d) sperperato「浪費された」です。文脈に合うのは、b)です。

#### N 51 c

【正答率】26.8%

【解説】4つの選択肢を直訳すると、a) fino al collo「首まで」、b) tra capo e collo「頭と首の間」、c) l'osso del collo「首の骨」、d) il collo del piede「足首」となります。これらの中で、「首の骨」は命に関わる大事な部分である頸椎を指し、成句〈rischiare l'osso del collo〉、直訳すると「首の骨を危険にさらす」は、「死ぬ危険がある」を意味します。よって、c)が正解です。

N 52 b

【正答率】67.6%

【解説】4つの選択肢の意味は、a) campanile「鐘楼」、b) camposanto「墓場」、c) centrocampo「(サッカーの)中盤」、d) controcampo「(映画の)リバース・ショット」です。文脈に合うのは、b)です。

### PARTE III (N 53 – N 59)

---

【訳】この数か月、コロナウィルスは多くの労働者の生活に大きな変化を強い、彼らが自らの日常を自宅の枠内で再調整することを余儀なくさせた。

ソーシャルネットワークの LinkedIn (リンクトイン) はこれに関してある調査を委任した。これはいわゆるテレワーク(もともとここ数か月で我々が体験したのはむしろ緊急在宅勤務だったが)なるものが、それを実践せざるを得なかった人のメンタルヘルスにどのように影響したかを知る目的で、在宅ワークに従事するイタリア人 2,000 人以上のサンプルを対象に、ロックダウン中に実施されたものである。調査回答者の 46%が以前と比べて自分の仕事に関してより不安にかつストレスを感じると、また 48%が 1 日に少なくとも 1 時間多く働いていると、そして 18%が自分のメンタルヘルス面で負の影響を受けたと認めている。

多くの人が、自分が自分の仕事に適格だと彼らの上司に実証したいとの願いを表明している。16%が、非常事態終了時に雇用主が自分を解雇するかもしれないと危惧する一方、19%が自分の会社の存続に不安を感じている。

リモートワークが義務づけられたこの時期はまた労働時間と自由時間との境界をあいまいにし、それが多くの人にとって、仕事スイッチをオフにするのをより難しくした。調査は、働く人の 22%が、労働開始時間を早めたり(22%)、所定の 8 時間を大幅に超過したり(24%)して、会社からの要求により迅速に対応するよう、また本来よりも長時間オンラインでつながっているよう、迫られていると感じていることを明らかにした。また回答者の 36%は、自分の会社からのプレッシャーにより、時には仕事を自宅でしている「ふり」だけをせざるを得なかったと打ち明けている。

目下の事態に関連したストレスや労働時間の増加が総体的には暗い様相を呈しているとしても、明るい効果もいくつか見られないわけではない。2 人に 1 人の回答者が、この自宅待機期間のおかげで家族や子供と以前より長く過ごせたと、また 10 人に 1 人が対人関係により効果があったと述べている。

回答者のほぼ 3 人に 1 人にとっては、より健康的な食事をする機会(27%)で、その他の人にとっては以前より運動する機会であった(14%)。



しかしこの調査は、この時間を、我々の体の健康はもちろんのこと、我々の情操面および心理面の健康もケアするべく活用すべきであることを示している。すでに見たように、およそ 5 人に 1 人の回答者が現に、不眠、さまざまな形での不安、集中力の不足を訴え、在宅ワークで働くという行為によって自身のメンタルヘルスが悪影響を受けたと述べている。

在宅ワークや外出できないことで、我々は仕事、家庭、余暇のバランスの突然の見直しをせざるを得なかった。世界的な大流行以前の仕事の体勢では、それ以外の生活環境から逃避し、そこから距離をおくことも許されていたが、ロックダウンでその可能性は消え、我々は孤独に、あるいは自分たちの同居人たちと常に向き合うことを余儀なくされ、得心のいくワーク・アンド・ライフ・バランスが往々にして犠牲にされている。

この新事態のため当惑したり混乱したりするのは理解できるが、同様に大切なことは、自分自身の内なる声に耳を傾けたり、情感や不安や恐れを見直したりするすべを学ぶために、この、自分自身との再発見された出会いを有効活用することだ。

まさにこの種の状況こそが我々の心的健康、生産性、チームワーク能力の緊密なつながりを際立たせる。企業は従業員への心理面での支援、彼らの幸福と福祉の保全に特化した企業福祉活動を策定するべきだ。

(www.agi.it 2020 年 5 月 14 日付「ロックダウン下の在宅ワークがイタリア人に及ぼす影響」より抜粋)

**N 58 a** **【正答率】81.7%**

**【訳】**ロックダウンの措置は仕事・家族・余暇のバランスを突如狂わせた

**N 59 a** **【正答率】85.9%**

**【訳】**この世界的な大流行によって引き起こされた予想外の事態はとまどいの原因であるけれども、この、自分自身との新たな出会いは最大限に活用する必要がある

PARTE IV

---

## N 60

【訳】リモート授業という、小学校から大学まで、現存の各教育機関がここ数か月採用せざるを得なかった教育方法は、利益をも不利益をももたらします。この点についてあなたの意見を述べてください。(180語から200語)

【模範解答例】Il coronavirus ha cambiato completamente il nostro modo di vivere, portando a mio parere nella vita degli studenti molti più svantaggi che vantaggi. Ogni volta, vedendo al telegiornale gli studenti fare lezione online, mi sono chiesta con preoccupazione se quel modo di studiare fosse disponibile per tutti. Ci saranno stati certamente anche alunni e studenti che non avevano un computer in casa, magari a causa della situazione finanziaria delle loro famiglie. Temo che la diversità di condizioni economiche abbia creato delle disuguaglianze per quanto riguarda le opportunità di apprendimento degli studenti. Tante mamme hanno inoltre dovuto lasciare il loro lavoro per prendersi cura dei loro bambini più piccoli. Anche questo ha causato disparità tra famiglie più ricche e famiglie più povere. A causa della riduzione della didattica gli studenti hanno dovuto dedicare più tempo allo studio rispetto a prima, con un conseguente aumento dello stress. Ho sentito che in alcune università fanno ancora adesso lezione online e che ci sono studenti che quest'anno non hanno mai messo piede in facoltà. Tale situazione comporterà per loro anche delle carenze di comunicazione e potrà causare problemi psicologici. Spero che torni presto la normalità e che tutti possano ritornare presto a scuola. (200 parole)

【訳】コロナウィルスは私たちの暮らし方をすっかり変え、それに伴い、私の意見では、学生たちの生活に、利益に比べてはるかに多い不利益をもたらしました。学生がオンラインで授業を受けるのをテレビニュースで見ると、あのような学び方は全員に手が届くのだろうかという危惧の念とともに自問しました。ことによると、彼らの家族の経済状態が理由で、家にパソコンのない生徒や学生もおそらくいたことでしょう。経済状態の格差が学生の学習機会の面で不平等を生んだのではないかと私は懸念します。加えて、多くの母親が幼い子供たちの面倒を見るために仕事を辞めざるを得ませんでした。そのこともより裕福な家庭とより貧しい家庭の間に不平等を招きました。授業短縮のせいで学生たちは以前よりも多くの時間を学習に費やさね

ばならず、それに伴ってストレスが増加しました。いくつかの大学は今もなおオンラインで講義を行っており、今年も学部はまだ一度も足を踏み入れていない学生がいるとも耳にしました。このような状況は彼らにコミュニケーションの低下をももたらすでしょうし、心理的な問題を引き起こすかもしれません。早く通常の状態が戻り、皆が早く学校に戻ることを願っています。(200 語)